



ソトノバ・アワード

Outdoor and Public Space AWARD

2018

応募要項

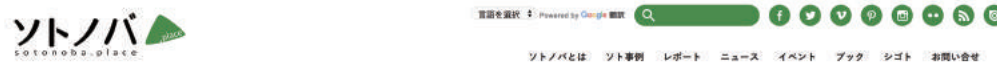


ソトノバは、ソトやパブリックスペースを豊かにすることを目指したメディアプラットフォームです。「ソトを居場所に、イイバシヨに！」をコンセプトに、2015年11月にパブリックスペース特化型WEBマガジンとして活動を開始しました。

近年、パブリックスペースが注目されるなかで、制度や実践の課題と共に、「パブリックスペースの情報」にも課題があるのではないかと気づきました。

具体的な課題としては、①事例収集をする際に、事例の情報がWEBに公開されていない、②制度の情報は省庁によって発信されており、俯瞰された情報はない、③地方分権が進む中で、自治体が指定するものも多く、国も一括に情報を網羅して公開していない、④活動をする際に、発信するメディアがない、⑤世界のアイデアや事例が日本で普及していない。

これらの情報の課題が解決されれば、実務検討のブレークスルーもしやすくなり、パブリックスペースを使っていい世論や雰囲気（ムーブメント）をつくっていくことで、都市やパブリックスペースは豊かになっていくのではないかと。そんな問題意識からソトノバは始まりました。



ソトノバ : <http://sotonoba.place>



ソトノバ・アワードとは

日本初のソト空間全般の表彰プロジェクト！

ソトノバ・アワードとは、
日本初のソト（屋外）空間全般を対象とした表彰プロジェクト
です。

日本のソトやパブリックスペースを豊かに楽しく活用するケースが増えている中で、議論に値するもの、一定の成果を挙げたもの、これからの展開が期待されるものなどの事例を表彰するために、ソトノバが創設しました。

2018年に第2回として実施いたします。

たくさんのご応募、お待ちしております。



ソトノバ・アワード Outdoor and Public Space AWARD 2018

ソトノバ・アワード 公式ロゴ



ゲスト審査員は、最終審査、ソトノバ審査員は全ての審査に関わります。

ゲスト審査員：

- 西田 司氏（オンデザイン）
野原 卓氏（横浜国立大学大学院准教授）
篠塚 雄一郎氏（コマエカラー代表/ソトノバ・アワード 2017 大賞受賞者）



ソトノバ審査員：

- 泉山 壘威（一般社団法人ソトノバ共同代表理事/東京大学助教）
荒井 詩穂那（一般社団法人ソトノバ共同代表理事/首都圏総合計画研究所）
石田 祐也（一般社団法人ソトノバ共同代表理事/ヌーブ）
小澤 亮太（一般社団法人ソトノバ共同代表理事）
三浦 詩乃（ソトノバ・ライター/横浜国立大学助教）



応募資格

- ・利用者、およびプロジェクトの関係者（所有者、運営者、設計者等）

※自薦他薦は問いません。ただし、他薦の場合は関係者との了解・調整の上、ご応募ください。

審査対象

- ・審査対象は、屋外空間（ソト）であり、パブリックスペースです。
- ・ソトノバが捉えるパブリックスペースは、
公民の敷地を問わず、ソト（屋外）の空間を対象としています。
人々の居場所となり、アクティビティの生まれる、誰もが使える自由空間としてのパブリックスペースです。
- ・法的位置づけや空間区分、公民の所有は問いません。
- ・原則、現在もアクティビティのあるものとしませんが、利活用実験など一時的なものは応募締切から過去2年間までの実施されたものとしたします。

登録費

部門 A-E（大賞審査対象）：30000 円

部門 W（大賞審査対象外）：無料

※部門 W は個人応募のみ（団体は不可）となります。

※登録費の支払については、振込みとなります。

応募者に支払手続きについてご連絡いたします。

今回募集するソトノバアワードでは、以下の部門に分けて募集いたします。
各部門の優秀賞* に対する横断的評価の上、A-Dの優秀賞から最優秀者が大賞として選出されます。

*応募状況によって、該当なしの部門がでる可能性もあります。

A. プロジェクトデザイン | PROJECT DESIGN

プロセスデザイン、ビジョン、仕組みなど

B. 場のデザイン | PLACE DESIGN

場や空間のデザインなど

C. 実験のデザイン | PILOT DESIGN

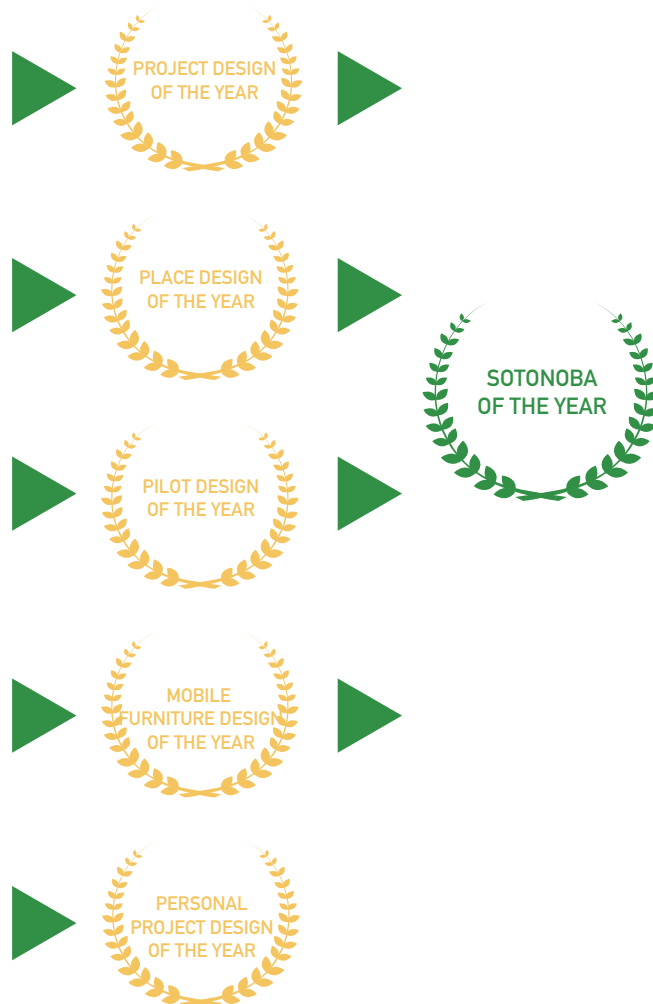
社会実験、仮設・期間限定、暫定利用など
実験性のあるデザインなど

D. 家具・ツールのデザイン | MOBILE FURNITURE DESIGN

家具、屋台などの可動性のあるツールのデザイン

W. わたしのソトノバ | PERSONAL PROJECT DESIGN

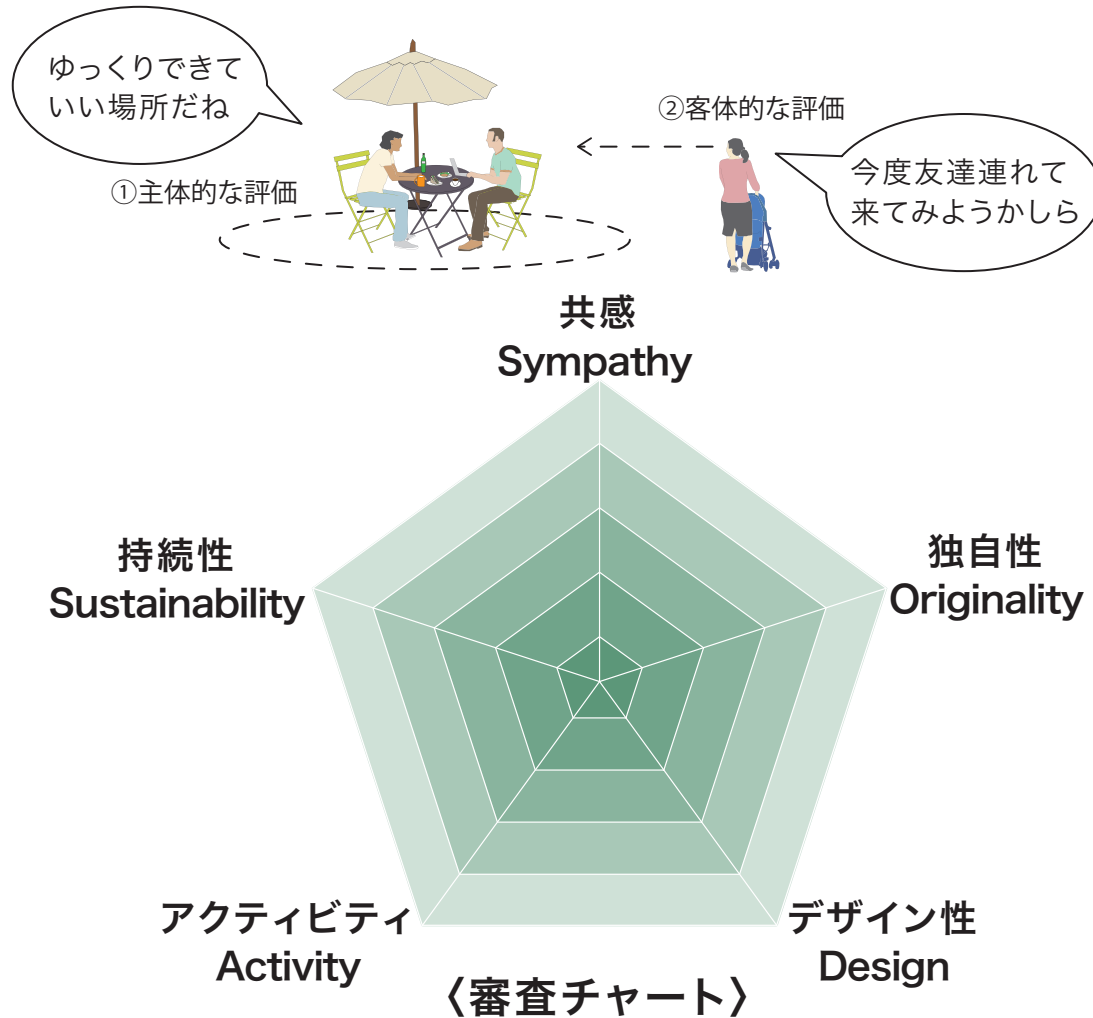
部門 A-D 以外の個人的な取り組み、ソトを楽しむ活動



ソトノバ・アワードでは、ソトノバのコンセプトである「ソトを居場所に、イバシヨに！」を実現する屋外空間を対象に審査を行います。

- ユーザーやアクティビストが「その空間を居場所だと感じるか、心地よいか」という主体的な評価
- 「その空間を使っている人や状態を見て共感・評価できるか」という客体的な評価

両者の評価に対して、つぎの5つの審査視点から公正に審査します。



〈5つの審査視点〉

1. 共感 | Sympathy

「いいね、必要だね」と誰もが共感できること

2. 独自性 | Originality

地域らしい、もしくは日本らしい場やコンテンツを備えていること

3. デザイン性 | Design

空間およびプロジェクト全体のデザインが丁寧になされていること

4. アクティビティ | Activity

さまざまなユーザーに開かれ、豊かな活動が醸成されていること

5. 持続性 | Sustainability

将来的にも持続可能な仕組みや運営づくりがなされていること

1次審査：書類審査

取組みの概要を、活動概要資料（A3 様式自由）に記入・提出していただきます。
審査員は、前述の審査の5つの視点に基づき、専門的観点から提出物をレーダーチャート評価いたします。

このアプローチから、公正に評価され、2次審査に進む取組みが選出されます。
一つのプロジェクトで、複数の部門に応募する場合は、部門ごとに応募書類を作成すること。

提出書類：活動概要（A3 様式自由）／応募者概要（A4 様式）／Web 記事原稿

最終審査：公開パネル・プレゼン審査

1次通過者が提出した A1 パネル（持参または送付）及び審査対象者によるプレゼンに基づく、
公開審査を行います。
プレゼンには、任意で、PR 動画の活用も可能です。

提出書類：活動概要 A1 パネル プレゼンデータ（PPT など） PR 動画（任意）

11月8日

公募・質問受付開始

11月16日

質問締切 回答公開（適宜）

12月6日

一次審査書類 応募〆切 ※厳守

12月8日

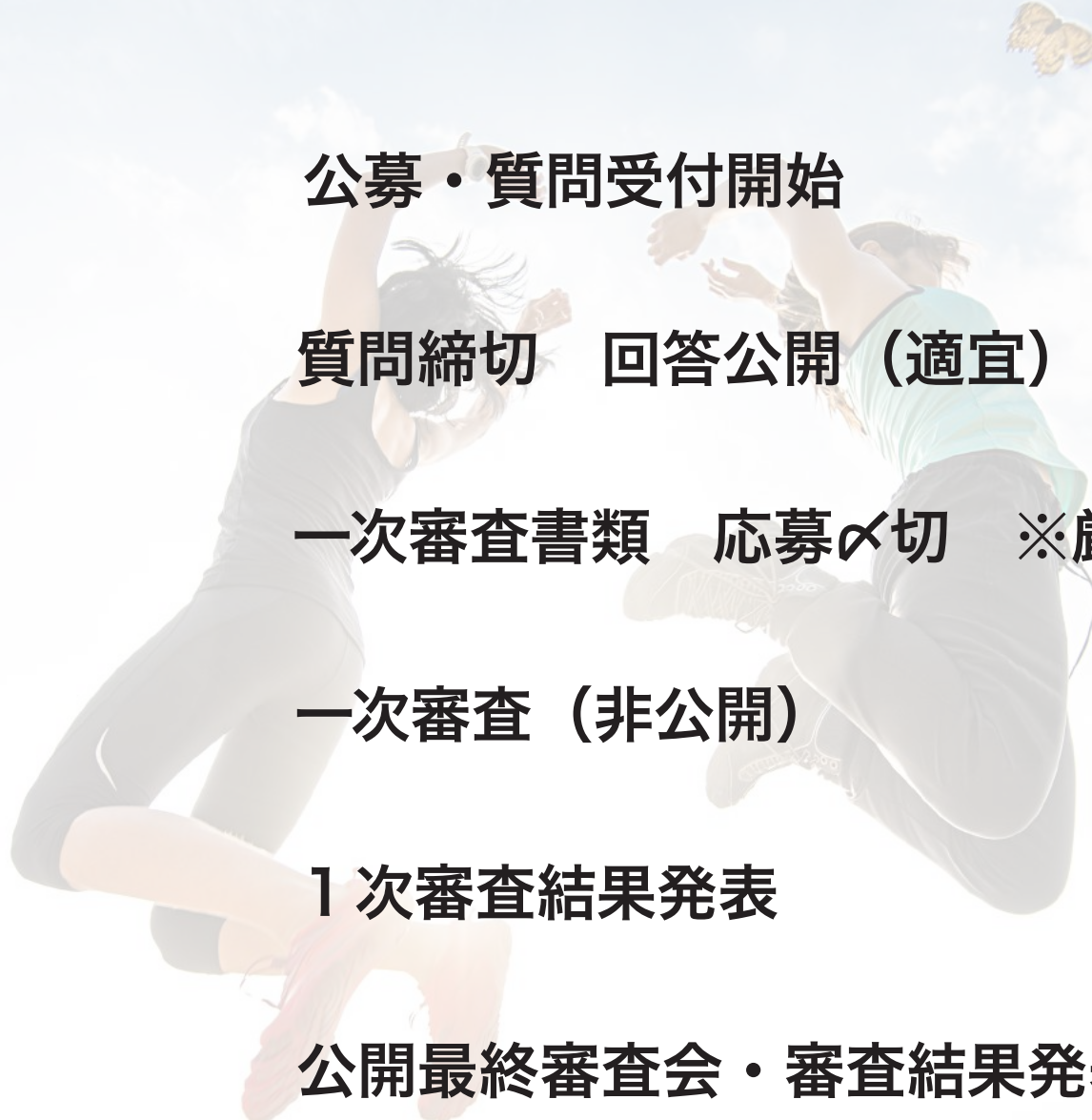
一次審査（非公開）

12月中旬

1次審査結果発表

1月12日

公開最終審査会・審査結果発表



アワード実績 (2017)

ソトノバアワード 2017 大賞
多摩川『川の家』プロジェクト



ソトノバアワード 2017 準大賞
左近山みんなのいわ



松山市中心市街地賑わい再生社会実験 「みんなのひろば」

ソトノバアワード 2017 都心賞
ファーストスクエアガーデン



ソトノバアワード 2017 地方賞
宇部まちなかにぎわい拠点マネジメント



提出先・問い合わせ

一次審査 応募書類 提出先：

一次審査応募書類の提出は、メール送付のみ受け付けております。
容量の大きいデータでの提出の場合は、ファイル転送サービスやクラウドサービス(dropboxやGoogle Driveなど)をご利用ください。

award@sotonoba.place

二次審査以降の提出方法は、該当の方に事務局よりご連絡いたします。

問い合わせ：

問い合わせは、メールでお願いいたします。

一般社団法人ソトノバ

award@sotonoba.place

080-4066-4966(泉山)

ソトノバ:

<http://sotonoba.place>



ソトノバ・アワード
Outdoor and Public Space AWARD
2018

たくさんのご応募をお待ちしております！